

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		下水道台帳整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二							
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名 酒巻 将之							
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	管理工務班	(内線) 1177							
予算科目	会計	50	款	-	項	-	目	-	事業連番	-	法令根拠	下水道法	成果優先度評価結果	11
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成15年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	6					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道の普及率を高めるとともに、生活環境の改善を図り公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的に対し、正確な下水道情報を作成することにより、効果的な下水道の維持管理を行うために整備する事業である。 平成15年度より、正確な下水道情報を作成することにより、効果的な下水道の維持管理に結び付けている。 市民・業者から管渠情報の問い合わせ等に迅速に対応が出来る。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 前年度施工した工事の竣工図を整理して下水道台帳システムに情報の入力を行う。排水設備については、竣工検査後各世帯情報を入力し、配管図はスキャナーにより台帳に取り込む。
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> 予算計上なし。平成23年度に下水道台帳未整備分のシステム作成業務を予算計上
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> 特定環境保全公共下水道の台帳が整備されておらず、早期の台帳整備が必要である。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
<ul style="list-style-type: none"> 下水道管渠築造工事 11箇所 排水設備完了件数 361件 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道管渠情報の入力 排水設備確認台帳の入力
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 下水道管渠工事	箇所 イ 排水設備完了件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業区域及び農業集落排水区域の施設 公共下水道事業区域及び農業集落排水区域の世帯 	⇒ ア 管渠延長 m イ 世帯数 戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
<ul style="list-style-type: none"> 正確な下水道情報を作成することにより、効果的な下水道の維持管理。 	⇒ ア 下水道台帳の整備率 % イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
<ul style="list-style-type: none"> 竣工検査後、正確な下水道情報を入力していくことにより下水道台帳整備率が向上するため。 近年の実績を基に設定。 	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 箇所		11	18	10	11	10	10	10
	イ 件		440	411	400	361	400	400	400
⑤ 対象指標	ア m		6159	4492	2685	1690	1700	1700	1700
	イ 戸		500	509	500	500	400	400	400
⑥ 成果指標	ア %		75	75	75	75	100	100	100
	イ								
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円					1,500	
		繰入金	千円						
		一般財源	千円					8,500	
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	10,000	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7	7
延べ業務時間		時間	945	945	945	945	945	945	945
(B)人件費計		千円	3,752	3,780	3,761	3,761	3,761	3,761	3,761
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,752	3,780	3,761	3,761	3,761	13,761	3,761

総トータルコスト	全体計画	~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0

事務事業名	下水道台帳整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>・特定環境保全公共下水道区域の台帳整備が未整備のため成果向上の余地がある。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・平成22年度にまだ未整備となっている特定環境保全公共下水道区域の台帳システム化を実施するよう予定していたが、既にシステム化している他の区域との台帳の統合システムに関して色々な問題が発生したため、平成22年度を台帳システム化に関する諸問題解決の検討期間とし、平成23年度に予算計上して取り組むこととした。